

豊田市

TOYOTA CITY SEWERAGE VISION

市民連携の取り組み

豊田市上下水道局企画課

目 次

- 1 上位計画への位置づけ
- 2 市民連携の取り組み
- 3 今後の展望

1 上位計画への位置づけ（豊田市下水道ビジョン）



1 上位計画への位置づけ（豊田市下水道ビジョン）



[目指す将来像]

視点1 快適な暮らし

目指す将来像Ⅰ きれいな水環境をつくる

本市で発生する汚水が適切に処理され、公共用水域の水質保全に寄与するとともに、市民や事業者が下水道を適切に利用し、健全な水環境を創造しています。

視点2 安全・安心な生活

目指す将来像Ⅱ 人と暮らしをミライへつなぐ

強固で活力ある組織体制による適切な運営管理により、安全で安定した下水道サービスを提供し、市民の暮らしをミライまで支えています。

視点3 持続的で豊かな環境

目指す将来像Ⅲ 自然災害から生活をまもる

ハードとソフトを組み合わせた防災・減災対策により、局地的大雨や地震などの自然災害による被害を最小化し下水道の機能（トイレ使用など）を早期に復旧させ、安全・安心な生活を維持しています。

目指す将来像Ⅳ 健全な経営をつづける

人口減少・少子高齢化や施設老朽化の環境下においても、安定した経営基盤が確保された健全な経営により、下水道サービスの提供を持続しています。

目指す将来像Ⅴ 循環型社会へ貢献する

下水道が持つ「水・資源・エネルギー」を有効利用することにより、循環型社会へ貢献しています。

目指す将来像Ⅵ 知識を共有する

戦略的な広報による「見せる化」を進め、下水道の理解と興味を深めることにより、価値と知識を共有しています。

1 上位計画への位置づけ（豊田市下水道ビジョン）

施策の柱 C) 水環境への貢献

基本施策⑤ 水環境への取組推進

水環境に対する下水道の役割を市民とともに考え、「良好な水環境の創造」に貢献します。

- 「豊田市水環境共働ビジョン」の取組として、学校や自治区による川しらべや水質調査を行い、身近な水環境に触れることで下水道整備の効果を感じ、市民の水環境意識の向上を図ります。
- 下水道における「市民科学」^{※1}の取組を検討します。

下水道の市民科学とは、地域住民が地域の団体（NPO、学校の科学部・同好会）や行政などの協力を得ながら、下水道に関する調査研究活動に参画することにより、よりよい地域づくりに向けて様々な課題解決を目指す方法です。

- 市民と連携し、雨水貯留・浸透施設^{※2}や雨水浸透緑地帯などの設置、雨水調整池を活用したせせらぎ水路や生態系に配慮した雨水整備による水辺空間の創造など、水循環への貢献を考慮した雨水施設の導入可能性の検討を行います。



図 5-9 中学生による川しらべの様子（資料提供：環境保全課）



図 5-10 地域住民による活動事例（逢妻地区）

指 標：実施方針の検討		
現 状（平成 30 年度末）	短 期 目 標	中 期 目 標
—	検 討 ・ 実 施	継 続
算出方法：「豊田市水環境共働ビジョン」などに基づいた実施可能な施策を探る		

※1 市民科学（Citizen Science）：一般市民が科学的な活動に関わることで、その多くは科学者や科学研究機関と協働あるいはその指導を受けて行われる

※2 雨水貯留・浸透施設：雨水を一時的に貯めたり地下に浸透させたりして、下水道・河川への雨水流出量を抑制するもの

2 市民連携の取り組み

下水道出前講座



講座のテキスト



認定証書

次世代を担う学生への意識啓発プロジェクト



豊田市職員による講座



下水道施設の見学



授業の一環

2 市民連携の取り組み

たくさんの人を巻き込む



パックテスト (COD、アンモニア性窒素)
【環境保全課】



生き物調査
【環境政策課】



地域住民による活動
【逢妻地区】

戦略的な広報・広聴活動



【上下水道広報モニター制度】



【マンホールカード】



【ペットボトル水 (とよた水物語)】

2 市民連携の取り組み

コラボ企画

豊田市上下水道局 × (一社) 豊田青年会議所



豊田市駅前蓋設置状況 (H29)



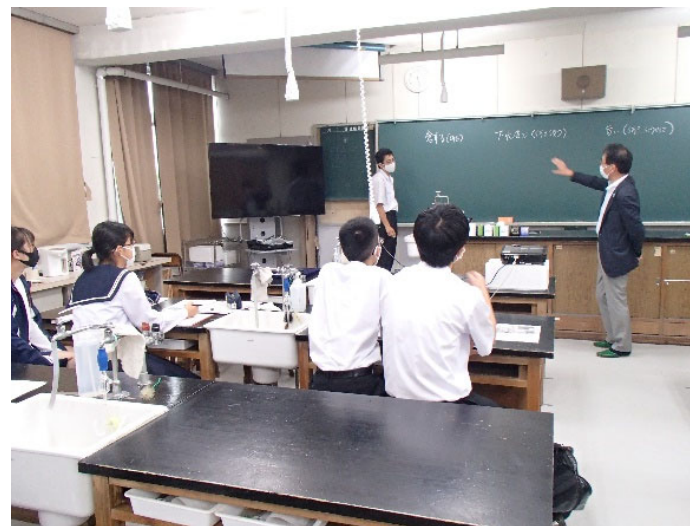
マンホールデザイン入賞作品10点

3 今後の展望

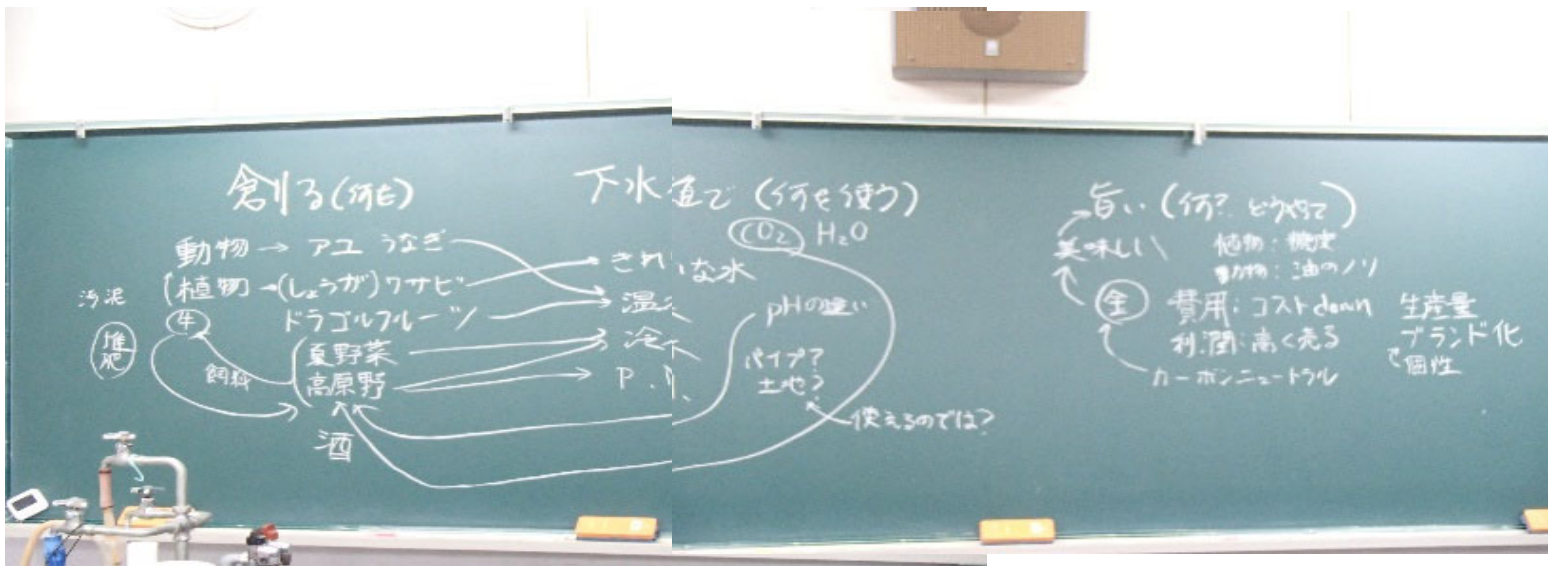
新たな活動団体



豊田市職員が説明



GKPアドバイザー栗原氏による講義



7/7活動成果

おわり

ご清聴ありがとうございました。



豊田市上下水道局企画課